

令和2年度第4回 大和市社会教育委員会議定例会（第31期）書面会議録

会議名(審議会等の名称)	令和2年度第4回 大和市社会教育委員会議定例会（第31期）	
開催日	令和3年2月25日（金曜日）	
開催場所	書面開催	
出席状況 (回答状況)	委員	11人：伊藤委員、今宮委員、大澤委員、尾辻委員、久津間委員、齋藤(正)委員、齋藤(道)委員、中山委員、長谷部委員、丸田委員、三好委員
	関係各課	5人：文化スポーツ部長、文化振興課長、図書・学び交流課長、スポーツ課長、こども・青少年課長
	事務局	3人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流係長、同係員2人 学び交流係（259-6104）
	傍聴人数	一人（書面開催のため傍聴無し）
公開・非公開の状況	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	
審議又は検討経過 及び結果	<p>1 会議次第</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>1) 令和2年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>2) 家庭教育支援に関する事業について</p> <p>(2) その他</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p><協議事項></p> <p>1) 令和2年度社会教育委員に関する研修会等について 承認11、不承認0</p> <p>2) 家庭教育支援に関する事業について 承認11、不承認0</p> <p>【結果】</p> <p>協議事項はすべての委員から書面による回答があり、全会一致で承認されました。</p> <p>社会教育委員からの主な意見・質問は以下のとおり</p> <p><協議事項></p> <p>1) 令和2年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会の中止が続き、非常に残念である。次年度は会場で開催できることを期待する。 ・参加予定以外の資料を事務局より送付いただき感謝している。 ・コロナ禍においては仕方のないことだと思う。 ・コロナ禍において、人数制限や書面開催となったことは残念である。 ・冊子や資料を拝読して大まかな状況は理解できるが、臨場感に乏しく成果や課題が身近に感じられない所が残念である。コロナの早い終息を願う。 <p>2) 家庭教育支援に関する事業について</p> <p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習主題の振り返りにおいて、参加者の感想にとどまらず、家庭や地域で 	

何ができるかをうまく導き出すことが大切であるとする。

- ・開催の日程は非常に良いと思う。
- ・親も子供もコロナ禍で色々学んだ事、体験したこと、思ったこと等をもとに終息後、どのような家庭教育が必要かの話し合いもできるとよい。
- ・会場についてはこれまで第1回を中部地区（草柳コミセン）、第2回を南部地区（柳橋コミセン）と実施してきたので、第3回は北部地区（中央林間またはつきみ野等）で開催することが望ましい。

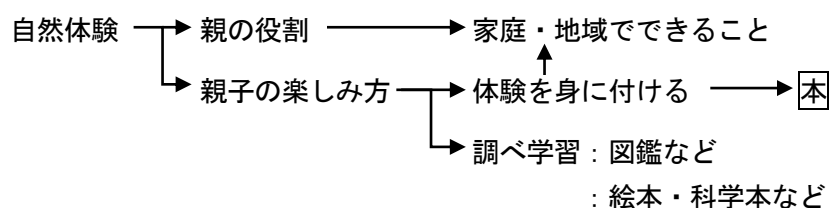
（事務局）

- ・開催日時と場所については、次回の令和3年度第1回定例会にて再度各委員へ確認し、決定することとしたい。
- ・ワークショップの内容が、コロナ禍における参加者の経験や課題のシェアの場として位置づけられていることで、前回より“主体的に地域での支援の実践者となる”という目標にかなったものとなっているように思う。
- ・新型コロナの状況により、実施または中止を判断する時期をあらかじめ決めておく必要があるのではないか。企画書にある講師は多忙な方と拝察する。日程は可能であれば早期に決定し連絡する必要があると考える。
- ・もし講師が日程等難しい場合、内容的に同等の知識・経験等から自身が社会教育委員の立場で引き受けることも可能である。
- ・家庭教育支援講座を開催予定の時期にはコロナが終息し、開催できることを切に願います。不確定要素が多い中での準備に感謝する。
- ・基本的には事務局案に賛成である。
- ・今後、この事業を継続的に行うための手立てとして、コミセンの活用、家庭・地域教育活性化会議やPTA団体等の、市内にある社会教育関係団体の活用も視野に入れて取り組んではどうか。今後は、そうした団体の主体的な活動として定着させていけるようにしたいと考える。
- ・現在おかれている状況を、今こそピンチはチャンスとポジティブに受け入れ、広がりのある考え方を生活の中に取り入れられるようなアイデアを子供に考えてもらうこともよいのではないかと考える。

<その他>

- ・家庭教育支援事業について、自然体験学習はとても良いと思う。前回の感想で、子どもと参加したかったという意見が多かったことから、親子の興味を引く内容であることが分かる。限られた時間の中で、そこから広げることは難しいと思うが、できれば体験したことを確認する調べ学習などにつなげることができるとよい。
- ・図鑑など、自然に関する本により、親子で取り組む家読へ発展させたい。

（イメージ）



※関連したもの、自分の好きなテーマを見つける

・最近の学習センターの事業について、コロナ禍で人の集まる講座やサークル活動ができないと思うが、社会教育法第3条にあるように、社会教育施設の使命は地域住民が「实际生活に即する文化教養を高め得るような環境をつくる事」とある使命が十分に果たされていないように感じている。具体的には地域住民のニーズに合った講座を企画が少なく、声が届いていないのではないかと危惧している。住民目線の講座を企画して欲しい事と、講座をきっかけに生まれるサークルや次につながる様な事業を希望する。

・大和市文化創造拠点運営審議会委員としてシリウスに対する中学生の思いを光丘中学校生徒の令和2年文化祭展示作品からまとめてみたので情報提供する。

・書面開催において、社会教育委員からの意見書の押印は必要なのか。国でも見直している。

(事務局)

・今後の意見書については押印欄を省略する。

・家庭教育支援事業に関して、実施不可となる可能性もあるが、オンラインでの実施なども方法の1つである。

・コロナ禍の中、子どもたちの活動が著しく制約を受けている。少ない人数の野外活動まで制約を受けている。今こそ家庭教育支援として子どもたちを守る働きかけが、社会教育の立場からも必要ではないかと強く実感している。

・1日も早く、一堂に会し話し合いができる日が来ることを祈念している。

・現時点特にないが、早く対面での会議ができるようになるとよい。

・コロナ禍の中で、なかなか皆様にお会いすることも出来ず、役所の皆様にも沢山の心配りをいただき感謝している。私事、長い間世話ばかりかけてきたように思われ大変感謝している。

・大好きな大和市のお役に立てるよう、これからも応援させていただく。

以上で議事を終わる。

<閉会>

会議資料

- ・令和2年度社会教育委員に関する研修会等
- ・令和3年度家庭教育支援講座（開催要項）